

これまで以上に社員がのびのびと仕事ができる風通しの良いグループにしていきたい

6月22日に開催された定時株主総会および取締役会を経て、(株)バンダイナムコホールディングスの新たな代表取締役社長に田口三昭が就任しました。今回は、バンダイナムコグループの新たなリーダーとなった田口社長に、現在の心境や抱負、そして今年4月からスタートした中期計画の滑り出しの状況やグループ動向などについて聞きました。

—新社長としての今の心境、抱負を聞かせてください。

田口 最初に前社長の石川祝男会長から打診されたときは大変驚きました。社長に就任し、改めて責任の重さを感じているところです。私の大きなミッションは、2015年度（2016年3月期）からスタートした現中期計画をしっかりと推進し、ビジョンである「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」に発展させていくことにあります。そのためにも、これまで以上に、社員がのびのびと仕事ができる風通しの良いグループにしていきたいと考えています。

—石川会長との役割分担は？

田口 基本的には2人で連携し、グループ経営にあたりますが、どちらかというと、石川会長は、先を見据えた新規ビジネスや異業種とのアライアンスなど、これまでのビジネスの延長線上にはない新しい事業領域の拡大につながることに取り組みます。一方、私は、中期計画のもと、各戦略を推進していきます。バンダイナムコグループ最大の強みであり、現中期計画においても事業戦略の中心となる「IP*軸戦略」をさらに強化するため、最適ナリソース配分や投資にも力を入れていくつもりです。

また、「IP軸戦略」をワールドワイドで展開するため、国内外のさまざまなパートナーとの取り組みをさらに深めていきたいと思えます。

—エンターテインメント業界をどのように見えていますか？

田口 エンターテインメント業界は年々変化が激しくなっており、時代に支持されるIPを我々が魅力的な商品・サービスとして展開できるかどうか、業績を左右する大きな要因となっています。また、お客さまに伝えるデバイスやプラットフォーム、ネットワークのインフラ環境も時代とともに進化しており、それに乗り遅れないように対応するためにも、時代を先取りするアンテナを常に伸ばしていなければなりません。バンダイナムコグループは、モノ・サービス、場など幅広い出口で事業展開をしています。その出口も激しく新陳代謝しており、これまであった出口がこれからもお客さまに支持され続けるとは限りません。ですから、たえず新しい一歩先の出口を見つけたり、創出していかなければいけません。

ナムコ創業者の中村雅哉さんが、よく「おもてなし」という言葉を使っていました。この意味は、お客さ



(株)バンダイナムコホールディングス
代表取締役社長 田口三昭

まが求めているニーズをいち早くつかみ取り、それに応えられるように努めなさいということです。また、バンダイ創業者の山科直治さんは「萬代不易」、つまり会社が存続し続けるためには変化し続けなければならないと言っていました。やはり常に一歩先を読むことが、ヒット商品やサービスにつながっていくんだと思いますね。

—中期計画初年度の第1四半期が終わりましたが、いかがですか？

田口 2015年度の第1四半期は、前年度から好調の事業や地域が引き続き順調に推移し、良い形でスタートを切ることができたと思います。油断することなく、グループ一丸となり年間の計数計画達成に向け、全力で取り組みます。(次ページに続く)

*IP: Intellectual Property、キャラクターなどの知的財産

売上拡大を目指すアジア展開が好調に推移

—バンダイの社長交代を発表しました。

田口 このたび、(株)バンダイ社長を務めておりました上野和典が代表取締役社長を退任し、取締役会長に就任しました。これは、家族の看護を優先したいという上野本人の強い思いを汲んでのものです。バンダイの新たな代表取締役社長には、専務取締役の川口勝が、また代表取締役副社長には、同じく専務取締役の福田祐介がそれぞれ就任しました。期中での異動ではありますが、バンダイの軸である玩具などの事業部門経験が豊富な川口と、事業部に加え、経営企画や管理にも精通した福田というバランスのとれた2人の代表取締役体制をとるとともに、上野も会長としてあらゆる面から2人をサポートします。この2人の代表取締役体制については、全く不安がないと私も感じていますが、社員もさらに奮起して新トップを盛り立ててくれると思います。

—トイホビーSBUはどうですか？

田口 前年度に大ブレイクした「妖怪ウォッチ」商品は国内で安定した人気を獲得し続けていますし、アジアでの商品展開もスタートしました。ガンプラ35周年というメモリアルイヤーを迎えた「機動戦士ガンダム」シリーズは、国内のみならずアジア

でも高い人気です。今年10月からは新作TVアニメ「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」がスタートしますので、ますます盛り上がっていくものと期待しています。そのほか、秋から新番組が始まる「仮面ライダー」シリーズ、「スーパー戦隊」シリーズや「プリキュア」シリーズなどの定番IPは、年末年始商戦に向けて重点商品を投入していきます。また、女兒向けに新規IP「かみさまみならい ヒミツのここたま」の展開を開始します。このほか「美少女戦士セーラームーン」商品で開拓した大人女性層に向けたアプローチも強化していきます。

—海外のトイホビーの動きは？

田口 欧米では「Power Rangers」が柱ですが、今年から「Power Rangers Dino Charge」がスタートし、好調に推移しています。欧米のトイホビーは、日本が開発をコントロールし、欧米は販売・マーケティングに注力する新体制のもと基盤固めが進んでいます。今後は、ディズニーさんとの「BIG HERO 6」(邦題：ベイマックス)の取り組みのように、外部とのパートナーシップにも力を入れ、IPラインナップ拡充を図っていきます。

—ネットワークエンターテインメントSBUはどうですか？

田口 「ワンピース」「ドラゴンボ

ル」「機動戦士ガンダム」「アイドルマスター」「NARUTO」などの商品・サービスが好調で、グループの業績を牽引しています。なかでも我々が想定していた以上に好調だったのが、欧米のパッケージビジネスで、今年2月に発売した家庭用ゲーム「ドラゴンボール ゼノバース」のリピート販売が今年度も好調なほか、新作タイトルも好調で業績に貢献しています。また、スマートフォン向けゲームアプリケーションやPC向けオンラインゲームなどのネットワークコンテンツは、市場の変化が激しい中、国内で安定した人気です。また、アジアなど海外での展開も本格的に始まり、順調に立ち上がっています。今後も、アジアや欧米などワールドワイドで、「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」のような戦略タイトルを投入していきます。このほか、業務用ゲーム機と施設などアミューズメントビジネスはバリューチェーンを整備・強化し、回復に向け取り組んでいきます。

—アジア地域が好調ですね？

田口 アジア地域は、現中期計画で成長のポテンシャルが高い地域として、3年で売上を倍増させる戦略を進めています。我々が展開するIPのファンもたくさんいらっしゃる、当初の想定以上のスピードでの事業拡大が期待できる感触を得ています。

(株)バンダイの新任代表取締役

代表取締役社長

かわぐち まさる
川口 勝

1960年11月2日生
神奈川県出身



1983年4月 (株)バンダイ入社
1994年4月 福岡営業所 所長
2002年4月 執行役員
バンダイ事業部ゼネラルマネージャー
2006年4月 取締役 流通政策担当
2010年4月 常務取締役
ホビー事業政策 品質保証政策担当
2015年4月 専務取締役 トイ事業政策担当
2015年8月 代表取締役社長

代表取締役副社長

ふくだ ゆうすけ
福田 祐介

1961年2月9日生
東京都出身



1985年4月 (株)バンダイ入社
2001年4月 執行役員 社長室ゼネラルマネージャー
2003年4月 執行役員 キャンディ事業部ゼネラルマネージャー
2006年4月 取締役 グループ政策担当
2008年6月 取締役 兼 (株)バンダイナムコホールディングス 取締役 経営企画部管掌
(株)バンダイ常務取締役 グループ政策担当
2011年4月 専務取締役 グループ・管理政策担当
2015年4月 専務取締役 グループ・管理政策担当
2015年8月 代表取締役副社長

(株)バンダイの取締役体制

(2015年8月5日付)

取締役会長	上野 和典
代表取締役社長	川口 勝
代表取締役副社長	福田 祐介
常務取締役	埜 義孝
取締役	佐藤 明宏
取締役	飛田 尚美
取締役	竹中 一博
取締役	水野 貴大
取締役 (非常勤)	五十嵐 正治

失敗を恐れず思い切ってバットを振っていく

—映像音楽プロデュースSBUは？

田口 IPファンが同じ場を楽しむというライブイベントがパッケージビジネスに続く新たな柱に育ってきているほか、ファンクラブや物販などの周辺ビジネスも拡大しています。また、映像と音楽の連動展開を行っている「ラブライブ！」は、6月公開の劇場版映画「ラブライブ！ The School Idol Movie」も大変盛況で、週末興行ランキングで動員数が3週連続で1位になるなど、大ヒットIPとなっています。このほか、第1作目がヒットした「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」シリーズは、秋には第2作目の展開が予定されています。実写作品でも「龍三と七人の子分たち」のようにヒット作が生まれています。今後も定番作品、新規作品など、新たな挑戦をどんどんしていきたいと思っています。

—「チャレンジする企業風土」を作っていくと話していますね。

田口 これまで以上に若い人たちがどんどんチャレンジしていける企業風土にしたいと思っています。私はバンダイに入社して以来、数多くの失敗を積み重ね、後輩にも「率先して失敗してきた」と言ってきましたが、「失敗を恐れずに」ということはぜひ言っておきたいですね。失敗を恐れていては決して良いものはできないし、失敗という経験は自分を成長させる上でムダにはなりません。失敗を社内があたたく見守り、必ず次の糧にさせていくような企業風土を作っていくと思っています。

—今後の方針を聞かせてください。

田口 現中期計画では、IP軸戦略の強化とアジア展開が大きなテーマとなっており、そのためにどうやってIP価値の最大化を図っていくかということが大きな課題です。そのリード役の1つとなるのが、私は「機動戦士ガンダム」ではないかと思って



います。ガンダムはアジア地域でも親和性が高く、需要が高まっています。ガンダムの新しい商品やサービスを日本と同時にアジアに展開し、さらにそれを突破口にワールドワイドで展開する。そうしたIPの積極的な強化策こそ、私に課せられたミッションだと思っており、思い切ってバットを振っていくつもりです。何卒、今後ともご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願いいたします。

田口三昭社長の横顔

<経歴>

1958年6月16日生 秋田県大仙市出身
 1982年3月 明治学院大学法学部卒業
 1982年4月 (株)バンダイ入社
 1999年4月 ベンダー事業部部長
 2003年6月 取締役
 2006年4月 常務取締役 新規事業政策担当
 2009年4月 専務取締役 メディア政策 新規事業政策担当
 2010年4月 取締役副社長 メディア政策 新規事業政策担当
 2012年4月 代表取締役副社長 グローバルメディア政策、人事政策担当
 2014年4月 代表取締役副社長 人事政策担当
 2015年4月 (株)バンダイナムコホールディングス顧問
 2015年6月 (株)バンダイナムコホールディングス代表取締役社長 就任

<趣味>

ゴルフ、野球、登山、小型船舶

<印象に残った本・映画>

「孤高の人」「フラガール」

<教師志望>

学生時代は郷里の秋田で教師になることを目指し、教職課程を履修。中学校・高校の社会科と国語の教員免許を取得したが、新規教員採用枠がなかったため、翌年の再挑戦を視野に1年限定のつもりでバンダイに入社した。バンダイを選んだのは、「子どもたちに夢を与える仕事をしている会社だった」からだという。

<模型事業部に配属>

入社後に配属されたのは模型事業部。ガンプラブームの真っ最中で、営業を担当したが、一人前になるまでは社外に出さないという教育方針だったため、1年間は営業に出ることはなかった。1年限定の就職のつもりだったが、次第に「自分で自立した人間として認めてもらうまでは辞められない」と思うようになり、部内で積極的に提案。1年目の終わりに作った販売マニュアルで初めて部長に褒められた。

<心に残る一言>

模型事業部時代の部長は自分にも他人にも厳しい人で、多くの影響を受けたが、中

でも「常に最悪の事態を想定して仕事をしろ」という一言は、その後、さまざまな新規事業の立ち上げを経験する中で1つのポリシーとなり、常に仕事を客観的に見つめ、最悪の結果となった場合の損失を想定することを意識するようになった。

<10回以上の異動>

模型事業部に約2年在籍した後、新規事業分野だったファッション部に異動し、その後、10以上もの事業を経験。「率先して失敗してきた」というように、オリジナル子ども服ブランドを立ち上げたときは6年間で累積6億円の赤字を出して撤退。失敗も多かったが、経験値として蓄積されたものも多く、その後、自販機カプセル事業や生活関連用品事業の拡大に生かされた。

<自己評価と社内評>

ビジネス面では権限委譲型だが、一方で「三振してもいいからバッテリーボックスに立ってバットを振る」タイプだという。社内評は、「着実に仕事を進める人物」「(挑戦する人の)背中を押してくれる人」

2016年3月期第1四半期連結業績

株バンダイナムコホールディングスは、2016年3月期（2015年度）の第1四半期累計期間（2015年4月～6月）の連結業績を発表しました。2015年度第1四半期は、国内およびアジア地域の玩具ホビー事業、ネットワークエンターテインメント事業のネットワークコンテンツおよび海外の家庭用ゲームソフト、映像音楽プロデュース事業が好調に推移しました。この結果、2015年度第1四半期の連結業績は下表の通りとなりました。

【玩具ホビー事業】

国内において、「妖怪ウォッチ」商品や定番IPの「機動戦士ガンダム」商品などが好調に推移しました。また、定番IPの「スーパー戦隊」シリーズや「ドラゴンボール」などの商品が各事業を横断する展開により順調に推移しました。このほか、大人層や乳幼児層に向けた商品展開を強化するなどのターゲット拡大に向けた取り組みを行いました。

海外においては、アジア地域において、「機動戦士ガンダム」や「妖怪ウォッチ」の商品、大人向けのコレクション性の高い玩具などが人気となりました。欧米地域では、「Power Rangers」シリーズの商品が堅調に推移しました。

【ネットワーク

エンターテインメント事業】

欧米地域において、前連結会計年度に発売した家庭用ゲームソフト「DRAGONBALL XENOVERSE」などのリピート販売や新作タイトルの販売が好調に推移しました。また、ソーシャルゲームやスマートフォン向けゲームアプリケーション、PCオンラインゲームなどのネットワークコンテンツの主力タイトルが国内で安定的に推移するとともに、アジア地域など海外でも本格的にサービスを開始しました。

一方、業務用ゲーム機や施設などのアミューズメントビジネスは、全体のバリューチェーンの整備と強化

に着手し、効率化などの面で一定の効果はありましたが、全体では苦戦しました。

【映像音楽プロデュース事業】

映像コンテンツと音楽コンテンツやライブイベントの連動展開を行っているIP「ラブライブ！」の商品・サービスが好調に推移するとともに、「機動戦士ガンダム THE ORIGIN I 青い瞳のキャスバル」の映像パッケージソフトが人気となり、業績に貢献しました。

なお、第1四半期の実績ならびに各事業の直近の事業動向を踏まえ、2015年5月に公表しました第2四半期累計期間（2015年4月～9月）の予想数値を下記のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値につきましては、第3四半期連結会計期間以降に大型商戦である年末年始商戦を控えていること、さらには変化が激しい市場環境が継続していることを踏まえ、修正はいたしません。

◆2016年3月期第1四半期 累計期間の連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連結業績	137,376	18,139	18,780	13,949
前年同期増減率	12.1%	7.7%	6.5%	19.9%

◆2016年3月期第2四半期 累計期間の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
今回予想 (2015年8月公表)	255,000	25,000	25,500	17,000
前回予想 (2015年5月公表)	245,000	20,000	20,500	13,500

◆2016年3月期通期の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期 (2015年4月～2016年3月)	530,000	45,000	46,000	30,000

◆2016年3月期第1四半期 累計期間のセグメント別実績

(単位:百万円)

事業分野	売上高	セグメント利益
玩具ホビー	50,008	5,207
ネットワークエンターテインメント	76,782	10,421
映像音楽プロデュース	11,464	3,171
その他	6,323	138
消去・全社	△7,202	△799
合計	137,376	18,139

※見通しに関してはさまざまな前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

宮城県で東日本大震災被災地の子どもたち向けの活動を実施

(株)バンダイナムコホールディングスは、8月に宮城県名取市で東日本大震災被災地の子どもたちに向けた活動を実施しました。この活動は、2011年より公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと連携し行っているもので、被災3県の子どもたちに向けた活動の一環です。今回は宮城県名取市の児童センターで、60名以上の子どもたちに向け、プラモデル教室を開催しました。バンダイナムコグループは、今後も被災地の子どもたちに向けた活動を行っていきます。



環境保全・環境学習活動の一環としてグループ社員が田植え体験を実施

(株)バンダイナムコホールディングスは、CSR活動の一環として、子どもたちが環境保全活動や環境学習を行う活動を支援する「こどもエコクラブ[※]」とパートナー契約を結びました。その第1回目の活動として、6月に山梨県甲府市で行われた田植え体験にグループ社員とその家族が参加しました。当日は、自然体験として、田植えのほか田んぼの生き物観察などを行いました。バンダイナムコグループでは、今後も「こどもエコクラブ」の活動に参加し、グループ社員が環境保全の大切さを体験するための活動を行っていきます。



◆こどもエコクラブ 公益社団法人日本環境協会が環境省の後援及び文部科学省の支援のもと、地方自治体や企業・団体と連携を図りながら、子どもたちの環境活動を支援する事業で、全国約1,900クラブ、約10万人が会員となっています（2015年8月現在）。

Portrait

現場から

顧客参加型アニソンパーティ&バー「アニ ON STATION」を担当

(株)ナムコ 新規事業企画部 第1企画チーム チームマネージャー 前田 利輝

「アニ ON STATION」は、2014年10月にオープンした、アニソンを好きな人たちが日常的に集まり、アニソンを通じてみんながシンクロできるこれまでにない顧客参加型アニソンパーティ&バーです。今回は当施設を運営する(株)ナムコの^{としま}前田利輝に話を聞きました。

Q 「アニ ON STATION」のこだわりを教えてください。

A 「アニ ON STATION」は、ナムコの新規事業企画部門におけるアニソン関連施設の第1弾として立ち上げ、新宿区歌舞伎町に1号店をオープンしました。DJのナビゲートのもと、大好きなアニソンを聞きながらお客さま同士がコミュニケーションを図ったり、サイリウムパフォーマンスを楽しめるほか、多彩なアニメ作品とのコラボプログラムや、リクエストタイム・ライブなど、さまざまなプログラムを展開しています。

一般のカラオケのように友人や家族などの仲間内だけではなく、お客さま同士が集まって感動を共感するという今までにない楽しみ方ができるのが一番のこだわりです。体感すれば楽しさがわかっていただけるのですが、オープン当初はど

んなものかを伝えることに苦労しました。

Q 知られるようになったきっかけは？

A 「美少女戦士セーラームーン」のイベントですね。大好きなアニメの音楽を皆で聴く、みんなで歌うことがとても人気となり、セーラームーンのファンサイトやSNSでも話題となり一気に認知度があがりました。ファンの有名人も来られてSNSに投稿してくれたのも大きいですね。その後も多彩なアニメとのコラボイベントや、「でんぱ組.inc」さんの新曲発表イベントなどさまざまな展開で広がりを見せています。これから多くのニーズに応えていきたいと思っています。

Q ターゲット層を教えてください。

A 当初のターゲットは20代前半の男性だったのですが、半数近くが女性で、年齢層は20代後半が多いです。地方から来られる方も増えていきますし、最近では海外の方も多く来られ、全体の3~4割にのびります。お一人ですっきり聴いている方もいれば、サイリウムを思いっきり振る方もいたり、楽しみ方もそれぞれです。また、ここで知らない人同士が友達になるなどコミュニケーションの輪も広がっています。



1991年3月(株)ナムコ入社。アニメイベント施設の地域統括などを担当のち、2014年より新規事業企画部に配属



Q 今後の展開について教えてください。

A 最近「なぜ東京にしかないのか」というお言葉をいただきます。私どももこの楽しさを多くの方々に体感していただきたいと思っており、他の大都市圏での展開も目指していきます。また、バンダイナムコグループが商品・サービス展開するIPや事業とコラボレーションするなど、さまざまな可能性を検証していきたいと思っています。ぜひ一度、「アニ ON STATION」の楽しさを体感ください。

新番組・新規IP紹介

◆機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ

「機動戦士ガンダム」シリーズ最新作となるTVアニメ「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」(毎週日曜日17:00～、MBS/TBS系列)が、10月4日より放送開始します。今作は、昨年35周年を迎えた「機動戦士ガンダム」シリーズの長い歴史の中で、どの作品よりも人間ドラマに焦点を絞り、少年たちの物語としての魅力と、それに伴って変化を遂げてゆく「ガンダム」の姿を描く新世代のガンダムです。(株)バンダイでは、「ガンプラ」を中心に、カード、フィギュア、玩具菓子、カプセルトイ、アパレルなど幅広いカテゴリーで商品を展開します。

GUNPLA
MADE IN JAPAN

©創通・サンライズ・MBS

◆仮面ライダーゴースト

平成仮面ライダー17作品目となる「仮面ライダーゴースト」(毎週日曜日8:00～、テレビ朝日系)が、10月4日より放送開始します。番組のモチーフは、ゴースト=おばけ。一度死んで、ゴーストとして蘇った主人公・天空寺タケルは、人々を守るため、謎の目玉のアイテム「ゴーストアイコン」を変身ベルト「ゴーストドライバー」に装填し、「仮面ライダーゴースト」に変身します。バンダイでは番組のスタートに合わせ、変身ベルトを中心にゴーストアイコン、なりきり商品など、番組と連動したさまざまな商品を展開します。



©2015 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

◆かみさまみならい ヒミツのここたま

女兒向け新アニメ「かみさまみならい ヒミツのここたま」(毎週木曜日18:00～、テレビ東京系)が、10月1日より放送開始します。「ここたま」は、人に見つからないようにこっそり人を幸せにするモノから生まれた小さな神様。ある日、主人公・四葉ころろが大切にしている色鉛筆から生まれたここたま「ラキたま」が、ころろに姿を見られてしまい、2人はヒミツの契約を結び物語が展開します。バンダイはカスタマイズできるハウスドール玩具などを発売するほか、バンダイナムコグループで得意分野を生かしたさまざまなカテゴリー商品を発売していきます。



©BANDAI/TV TOKYO・ここたま製作委員会

New Products

新製品情報

「ICカードダス ドラゴンボール」
第1弾 スターターセット
(ICカードリーダー同梱版)

9月19日発売予定/3,240円 (株)バンダイ

世界で初めてNFCチップをすべてのカードに搭載した新トレーディングカードゲーム(TCG)シリーズです。リアル(対面)でTCGが楽しめるほか、デジタル(オンライン)でも同じゲームを同じルールで楽しむことができます。NFC通信機能搭載の端末や、専用の「ICカードリーダー」でカードをスキャンすると、デジタルデータでカードが登録され、対戦相手が近くにいない場合でもいつでもどこでもTCGを楽しむことができます。



©バードスタジオ/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

カラオケランキンパーティ

10月上旬発売予定/8,444円 (株)バンダイ
マイクのケーブルをテレビにつないでカラオケが楽しめる商品です。テレビ画面には、曲に合わせて歌詞が表示されるのに加え、歌声がリアルタイムに波形表示され、発声、音程、ビブラートなどを分析し得点化します。ヒットソングを収録した別売りのカートリッジ(各2,484円/各15曲収録、全5種)を差し替えて、好きな歌を楽しむことができます。人気曲を収録したカートリッジは、今後も続々登場予定です。



©BANDAI

赤外線コントロール
キャラファルコン スター・ウォーズ

発売中/各6,458円 (株)シー・シー・ピー
「キャラファルコン スター・ウォーズ」は、映画「スター・ウォーズ」に登場する架空宇宙船をモデルにした赤外線コントロールフライトトイです。「ミレニアム・ファルコン」、「Xウイング・スターファイター」、「タイ・ファイター」の3種類を発売。3人で3台同時にフライトが可能なオートバンドセレクトを採用しています。キャラファルコンは、今後シリーズ化を予定しています。



© &™ Lucasfilm Ltd.

「太鼓の達人」シリーズ15周年 記念プロジェクト始動

(株)バンダイナムコエンターテインメントは、和太鼓リズムゲーム「太鼓の達人」が2016年2月にシリーズ15周年を迎えることを記念し、さまざまな取り組みを実施します。まずは日本を代表するアニメーションスタジオ・スタジオジブリによる記念ショートアニメーションを公開。鈴木敏夫氏のプロデュースで、和太鼓に魂が宿り、「太鼓の達人」のキャラクターである「どんちゃん」や「かっちゃん」になっていく様子が、すべて筆による温かみのあるタッチで生き生きと描かれています。また、鈴木氏が考案したオリジナルのねずみのキャラクターや、鈴木氏直筆のキャッチコピーも登場します。本取り組みのほかにも、EXILEのMAKIDAIさん、関口メンディーさんの15周年タイアップアーティスト起用やシリーズ初の世界大会を開催します。



©2015 TS・Studio Ghibli
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

「DARK SOULS III」 2016年 初頭にワールドワイドで発売予定

バンダイナムコエンターテインメントと(株)フロム・ソフトウェアは、PS4/Xbox One/PC用ソフト「DARK SOULS III」を共同開発し、2016年初頭にワールドワイドで発売します。本作は『DARK SOULS』シリーズが持つダンジョン探索の緊張感や高い達成感につながるゲーム性をそのままに、新たな世界で構築された完全新作の本格ダークファンタジーアクションRPGです。ネットワークを通じて他のプレイヤーと共有体験できることや、退廃的な雰囲気漂うダークファンタジーの世界観、自由度の高い攻略性と駆け引きを重視したゲームシステムが、欧米のお客さまを中心に高く支持されており、シリーズ累計出荷本数は800万本を突破しています。なお、バンダイナムコエンターテインメントは海外での販売を担当します。



©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.
©2011-2015 FromSoftware, Inc. FromSoftware, Inc.

アイドルマスター10周年イベント開催 スマートフォン向け配信も今秋スタート

7月18日、19日の2日間、西武プリンスドームで「THE IDOLM@STER M@STERS OF IDOL WORLD!! 2015」が開催されました。当日は、765PRO ALLSTARS+、CINDERELLA GIRLS、MILLIONSTARSの声優陣によるライブパフォーマンスが披露され、10周年にふさわしい豪華で大盛況なイベントとなりました。

また、今秋より配信されるスマートフォン向けゲームア

プリ「アイドルマスター シンデレラガールズ スターライトステージ」の新PVも披露されました。このアプリは、TVアニメでお馴染みの楽曲に合わせて、タイミング良く画面をタップするリズムゲームで、ゲーム中のライブパートでは人気のアイドルたちをはじめ、総勢50人以上のキャラクターがハイクオリティな3D演出で躍動します。



©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

New Products
新製品情報

PS4/PS3用ソフト 聖闘士星矢 ソルジャーズ・ソウル

9月25日発売予定/7,120円(税抜)

(株)バンダイナムコエンターテインメントアニメ「聖闘士星矢」の壮大な世界観やストーリーをダイナミックな演出で表現したシネマティック小宇宙アクションゲームです。「星矢」をはじめとした個性的なキャラクターの“小宇宙”を駆使し、戦略性の高いバトルが楽しめます。シリーズ初のPS4対応で、流れるような闘士たちの動きを高解像度で再現。4月よりバンダイチャンネルほか全世界で配信中のアニメ「聖闘士星矢 黄金魂 -soul of gold-」に登場する黄金聖闘士アイオリアらもいち早く登場します。北米、欧州、南米、アジアでも発売します。



©車田正美/東映アニメーション
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

スマートフォン向けアプリ 美少女戦士セーラームーン セーラームーンドロップス

近日配信予定

(株)バンダイナムコエンターテインメント20周年を迎え、ますます盛り上がりを見せる「美少女戦士セーラームーン」が、スマートフォン向けゲームアプリケーションとして近日配信予定です。「美少女戦士セーラームーン」のストーリーを体感しながらドロップをつなげて消して、ミッションクリアを目指すパズルゲームです。パズル内ではセーラー戦士たちがかわいくアクションを繰り広げ、条件に応じて必殺技を披露します。



©武内直子・PNP・講談社・東映アニメーション
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

アミューズメント景品 夏目友人帳 ニャンコ先生 でっかい着ぐるみぬいぐるみ

9月下旬投入予定 (株)バンプレスト

ニャンコ先生&黒ニャンコがそれぞれの着ぐるみを着た、1つで両方のキャラクターイメージを持つことができる、でっかい着ぐるみぬいぐるみです(全2種、全長約31cm)。9月下旬より全国のアミューズメント施設に向けて投入します。



©緑川ゆき・白泉社/「夏目友人帳」製作委員会

「なぞともCafe」 中国・杭州市にオープン

株式会社ナムコでは、「なぞともCafe」のほかにも、全国各地の謎解きイベント情報を紹介するポータルサイト「なぞとも」の運営や、公演型謎ときイベントのプロデュース事業など、「なぞとも」ブランドによるリアルゲーム事業の拡大に努めています。このたび、リアルゲーム事業の海外進出第一弾として、中国に謎解き体験施設「なぞともCafe」を展開します。中国展開の1号店として、中国のアミューズメント施設運営企業、杭州神采飛揚娛樂有限公司（本社：浙江省杭州市 董事長：鄭志忠）と協働で、6月26日に浙江省杭州市に「謎友亭 杭州星光大道店」をオープンしました。ナムコは今回の出店により、「なぞともCafe」の海外展開モデルとしてさまざまな検証を進めていきます。これにより海外市場における多店舗化や、現地でのコンテンツ開発の可能性などを含めて、リアルゲーム事業の一層の深耕を図る予定です。



「namcoゆめタウン 廿日市店」オープン

ナムコはこのほど、「ゆめタウン」最大級の大型商業施設「ゆめタウン廿日市」に、「namcoゆめタウン廿日市店」（広島県廿日市）をオープンしました。中国地方初となる時間課金制インドアパーク「あそびパーク」を導入し、ファミリーを中心に子どもからシニア層まで3世代にわたり幅広く楽しめるアミューズメント施設となっています。



屋内型こども“街あそび”体験施設 「キルメスタウン」オープン

ナムコは7月17日、横浜市営地下鉄「センター南」駅前の商業施設「港北東急S.C.」（神奈川県横浜市）に、街あそび体験施設「キルメスタウン」をオープンしました。「キルメスタウン」は、ドイツの移動型遊園地「キルメス」をモチーフに、子どもサイズにスケールダウンしたエンターテインメント性あふれるかわいい街空間です。お子さまは遊びを通じて専用通貨「キルン」を増やすことや、消費するドキドキ感やわくわく感が体験できる“街あそび”を楽しむことができます。



ナンジャタウンに新アトラクション 「もののけハンターズ」オープン

ナムコは7月24日、「ナンジャタウン」（東京都豊島区）に、常設の新アトラクション「もののけハンターズ」をオープンしました。「もののけハンターズ」は、ナンジャタウン園内に突如として現れた“未確認もののけ”を、新アイテム「もののけロッド」を持って探索・捕獲していく街巡り型アトラクションです（小学生未満は中学生以上の付添が必要です）。



「コロコロBASE」オープン

株式会社プレジャーキャストは7月15日、「ららぽーと富士見」（埼玉県富士見市）内2階に小学館が発行する雑誌『月刊コロコロコミック』や『月刊コロコロイチバン!』をテーマにした「コロコロBASE～コロコロひみつ基地～」をオープンしました。「オリジナルアトラクション」「コロコロ関連商品販売」「コロコロ関連イベント」の3つの柱で構成する世界初のコロコロオフィシャルショップです。



「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」ほか 話題のTV・劇場アニメが今秋続々登場

「ガンダム」TVシリーズの最新作「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」が10月4日よりスタートします(作品詳細は6ページに記載)。

そのほか、累計600万部突破の人気漫画を原作に、平熱系最強ヒーローを描くアクションアニメ「ワンパンマン」、青く輝く鉱石に覆われた惑星に住む少年を主人公に不思議な少女との出会いと冒険を描くオリジナルSFアニメ

	タイトル	上映/放送
劇場アニメ	かいけつゾロリ うちゅうの勇者たち	9月12日公開
TVアニメ	機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ	10月4日放送
	ワンパンマン	10月放送
	コメット・ルシファー	10月放送
	コンクリート・レボルトィオ～超人幻想～	10月放送
	ブレイブビーツ	10月放送

メ「コメット・ルシファー」、監督：水島精二(『機動戦士ガンダム00』)×脚本：會川昇(『鋼の錬金術師』)が描くオリジナルヒーロー群像劇「コンクリート・レボルトィオ～超人幻想～」、日曜日の朝に目覚めの一発となる、元気なダンスヒーローアニメ「ブレイブビーツ」が10月より放送開始となります。

さらに、「かいけつゾロリ うちゅうの勇者たち」が9月12日より全国公開されます。原作者・原ゆたか氏の協力のもと完全オリジナルストーリーでお届けするシリーズ最新作です。

©創通・サンライズ・MBS



「機動戦士ガンダム THE ORIGIN II 哀しみのアルテイシア」 10月末よりイベント上映・Blu-ray先行販売・先行有料配信



累計発行部数1,000万部を誇る大ヒットコミックスのアニメ化第2弾となる「機動戦士ガンダム THE ORIGIN II 哀しみのアルテイシア」が、10月31日より全国15館でのイベント上映、Blu-ray Disc Collector's Editionの先行販売、先行有料配信を同時スタートします。

初回限定生産のBlu-ray Disc Collector's Edition (10,000円)は、劇場と、バンダイビジュアル公式通販サイト「BVC」での限定販売商品です。特典には、安彦良和総監督描き下ろしイラストを使用したLDサイズ収納箱が付属するなど、ファン必携の豪華仕様となっています。

BVCでのBlu-ray Disc Collector's Editionの発売は11月7日、Blu-ray & DVDの一般発売は11月26日の予定です。



©創通・サンライズ

New Products

新製品情報

龍三と七人の子分たち

Blu-ray スペシャルエディション：7,000円/通常版：4,800円
DVD スペシャルエディション：6,000円/通常版：3,800円

10月9日発売予定

バンダイビジュアル(株)

観客動員数130万人、興行収入16億円を突破し、北野武監督作品として「座頭市」(03年)に次ぐ歴代2位の大ヒットを記録した本作が、早くもBlu-ray & DVDで発売されます。スペシャルエディションには、メイキングや豪華キャスト陣のインタビュー映像、初日舞台挨拶の様子を収録した特典DVDのほか、解説書(24P)が付属。金無し、先無し、怖いモノ無し。空前の“ジジイ”ブームを巻き起こした、世代を超えて楽しめる一大エンターテインメントをご家庭でお楽しみください。



左：Blu-rayスペシャルエディション、右：Blu-ray通常版

©2015「龍三と七人の子分たち」製作委員会

JAM Project 15th Anniversary STRONG BEST ALBUM MOTTO! MOTTO!! -2015- STRONG BOX

STRONG BEST ALBUM：3,000円

STRONG BOX【完全受注生産商品】：15,000円

9月9日発売予定

(株)ランティス

日本のアニソン界を常にリードし続けてきたJAM Projectが、設立15周年を記念してベストアルバムを発売。ファンからのリクエストをもとに選ばれた12曲を、現メンバーの演奏&歌で再収録したファン歓喜のベストアルバムが登場します。完全受注生産となる「STRONG BOX」は、ベストアルバムに加えミュージックビデオなどを収録したBlu-ray、メンバーインタビューや座談会などを盛り込んだ250ページを超える記念BOOK、オリジナルTシャツなどの豪華アイテムを特製オリジナルデザインボックスに同梱しています。



施設の整備、料金の見直し、イベントの拡充、社員の意識改革などが奏功し 入園者数が増加

バンダイナムコグループのアミューズメント施設会社で、(株)花やしきが運営する日本最古の遊園地「浅草花やしき」の年間入園者数が、2014年度に55万人を超え、年々増加する傾向が続いています。今回は花やしきの弘田昭彦社長に、「浅草花やしき」の状況と今後の取り組みなどについて聞きました。

—浅草花やしきの特徴や魅力について教えてください。

弘田 日本最古の遊園地であることが最大の特徴であり、魅力だと思います。「世界一狭い遊園地」とも言われていますが、その狭さを生かした立体的なアトラクションの構成はほかの遊園地では見られません。さらに東日本最大の観光都市の1つである浅草に位置し、浅草寺に隣接しているという立地的な特徴もあります。下町の庶民的な雰囲気を持つ安心感や心地よさが、大規模テーマパークとはまた違った魅力となっています。

—客層の変化はありますか？

弘田 土日はやはりファミリー層が中心ですが、平日は若い方々のグループなど、幅広い年代のお客さまが増えています。「浅草花やしき」は前中期計画（2012年4月～2015年3月）で「総合娯楽場化」を掲げ、野外リングで本格的なプロレスが楽しめる「ハナヤシキプロレスリング」や、おいしいバーベキューが堪能できる「花やしきBBQガーデン」などを開催し、アトラクション以外のイベントも楽しめる「総合娯楽場」としての施設づくりに

継続的に取り組んでいます。こうしたイベントを目的に来られるお客さまが、「浅草花やしき」に興味を持たれ、今度は遊園地を目的に来られるようになっていきます。お客さま層の変化はこうしたことも一因だと思います。

—入園者数が増えている理由は？

弘田 東日本大震災直後は入園者数が落ち込みましたが、その時期を除くとずっと順調に数を伸ばしています。その理由の1つは、2004年に経営統合以前のバンダイグループに入ってから、すぐにトイレや外観などの改装に着手し、古くなった建物の建て替え、飲食店舗の増設、お化け屋敷の新装など、施設の整備に取り組んできた結果だと思います。また、料金面も見直しました。お子さまの付き添いの方のアトラクション搭乗を無料化し、入園無料の対象者を未就学児童やすべての身体障害者の方々に広げました。結果的に子どもを中心とした入園者数が大きく増えました。さらに「総合娯楽場化」構想に伴う各種イベントが人気を集め、入園者数の増加につながっています。一方で、社員が自主的、積

極的に明るく仕事ができるように、職場の環境づくりにも努めています。自分の役割を自覚してもらうための責任の明確化や、「自分たちが花やしきを経営していく」という意識改革のための啓発活動などにも、これまで以上に取り組んでいます。こうして社員が生き生きと働くことで、花やしき全体の雰囲気も楽しく明るいものになっていると考えています。

—「総合娯楽場化」の取り組みが大きな成果を生んでいますね。

弘田 「浅草花やしき」は江戸末期に植物園で小動物を飼っていたことから始まります。珍しい動物の展示があったり、遊具だけではなくプールや劇場が併設されていたりと、昭和初期までは複合的な娯楽施設としての特徴を持っていました。これから東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、さらに入園者数を増やし、外国人旅行者を誘致するインバウンド需要を取り込んでいくためには、遊園地だけのビジネスではなく、昔の花やしきのように複合化された「遊びを提供する場所」にしていきたいと考え、「娯楽場」ということを意識してきましたが、それが良い結果を生んでいると思っています。

◆浅草花やしき

1853年（嘉永6年）、植木商の森田六三郎により花園として誕生。明治初期から動物、見世物の展示、遊戯機器の設置などを行う。震災・戦禍の影響で閉園したのち、1949年（昭和24年）に(株)トーゴが遊園地として再建。1953年に日本現存最古のローラーコースターを設置。2004年より当時のバンダイグループの(株)バンプレスト子会社となり、(株)花やしきが事業を継承。

◆営業 10:00～18:00（季節天候により変更）

◆休園日 メンテナンス休園 ※要問合せ

◆入園料 大人1,000円、小人500円
※乗り物は別料金

◆所在地 東京都台東区浅草 2-28-1



ペダルを漕いで空高く舞い上がり空中散歩を楽しむ「シラサギ」



さまざまなカラクリや障害を越えながらゴールを目指す「浅草大迷路 忍ノ岩」

地域に根ざした複合的な遊びを提供する 昔ながらの「総合娯楽場」を復活させる

—インバウンド需要を意識した取り組みはありますか？

弘田 外国人の入園者数の割合は、まだ全体の1%程度です。遊園地は海外にもたくさんありますので、「浅草花やしき」の「日本最古」「世界一狭い」といった特徴を生かし、興味を持っていただけるような仕組みづくりを行っていきたくと考えています。そのためにも、多言語化サインの充実や、無料Wi-Fiの環境整備などにも積極的に取り組んでいます。また、外国人の方々が楽しめる工夫として、忍術を体験できる「忍者体験道場」や、芸者さんのお座敷芸の体験ショー「浅草芸者花やしきの舞」なども始めています。これからも「寿司職人体験」や「三味線体験」など、日本の文化や芸能が体験できるワークショップ型イベントや、「花魁道中」のようなパレード型イベントを仕掛けていき、地域と一緒に盛上げていきたいと思っています。

—弘田社長はずっと「浅草花やしき」に従事してきたのですか？

弘田 最初は、大学を卒業して出版社で営業の仕事をしていました。その後、「浅草花やしき」に日本現存最古のローラーコースターを導入したトーゴという会社に転職し、最初は地元静岡の遊園地で働くようになったのです。そこで子どもたちが喜んでる顔や、家族連れが楽しそうにしている姿を見て、とてもやりがいのある仕事だと感じました。やがて東京本社に異動し、ゲーム機のセー

ルスを担当した後、遊園地の企画から立ち上げまでを担当するようになり、「浅草花やしき」と直接関わるようになったのです。

—バンダイナムコグループに加わったことで何かかわりましたか？

弘田 メーカー業と施設運営業の違いもありますが、最初にグループの人たちと出会ったときは、物事の方や行動の仕方がまったく違うので衝撃的でした。グループ間の交流の中でさまざまな刺激を受けることで、仕事を自分たちで作っていくんだという主体的な意識がより強くなったように感じます。その結果、遊園地の運営だけでなく、新たな付加価値となるビジネスに取り組んでいこうという発想も生まれたのだと思います。

—今年に入って新しいアトラクションを次々にオープンしましたね。

弘田 今年3月に、小さいお子さまが楽しめる乗りものを増やそうと、空中散歩が楽しめる飛行塔型アトラクション「シラサギ」を導入しました。また、6月には、3階建の砦の中で上下左右、縦横無尽に動き回りながらゴールを目指す複層型巨大迷路「浅草大迷路 忍ノ砦」をオープンしました。いずれも好評で、「浅草花やしき」の新たな魅力となっています。

—今後の展望を聞かせてください。

弘田 今後も「浅草花やしき」がずっと発展していくためには、しっかりとした総合娯楽場としてのビジネススペースを作っていかなければなり



こうだあきひろ 弘田昭彦 社長のプロフィール

1955年7月21日生
1979年3月 日本大学文理学部国文学科卒業
1979年5月 東洋音楽機(株) (現・㈱花やしき) 入社
1997年10月 ㈱トーゴ (現・㈱花やしき) 営業本部 市場開発部 部長
2004年9月 ㈱花やしき 取締役
2008年9月 ㈱花やしき ミュージック 監査役 (非常勤)
2012年4月 ㈱花やしき 代表取締役社長 兼 ㈱花やしき ミュージック 代表取締役 就任

ません。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までは、そのための下準備だと思っています。その上で、遊園地事業を基幹事業としながら、浅草ならではの地域性を生かし、下町エンターテインメントを加味した飲食・物販・イベント・劇場などを加え、明治後期から昭和初期の花やしきのように、複合的な遊びを提供する「総合娯楽場」にしていきたいと思っています。

花やしきは、バンダイナムコグループの中ではまだまだ事業規模が小さいですが、私が社長でいる間にできるだけ企業規模を大きくし、社員たちの期待に応えていきたいと思っています。

編集後記

2015年6月22日に開催した当社の定時株主総会には、多くの株主の皆さまにご来場いただき、全ての議案を承認いただきました。皆さまからいただいたさまざまなご意見、応援のメッセージを踏まえ、グループ一丸となり取り組んでまい

ります。今後も年末年始商戦、そして下期に向けて、さまざまな商品・サービスをご提供していきますので、どうぞご期待ください。

また、2015年3月31日を基準日として100株以上保有いただいている株主の

皆さまにご案内させていただいております株主優待の申込期限が、2015年9月30日（WEBサイト申込は当日中、ハガキ申込は必着）となっておりますので、改めてご案内させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

超次元変形フレームロボ

9月19日発売予定/各540円(税込)

(株)バンダイ

「超次元変形フレームロボ」は、プラモデルの常識を超えた組み立てホビーです。工具を使用することなく、平面の「フレームフォーム」の各パーツを切り取り、折りたたむことで、立体的な「ロボフォーム」や「ウェポンフォーム」へと変形(組み立て)を楽しめます。「ロボフォーム」や「ウェポンフォーム」に変形した後に、「フレームフォーム」に戻すこともでき、何度でも変形して楽しめます。また、通常のプラモデルでは切り捨てられるランナー(部品をつなぐ枠)が本商品では無く、商品を構成する全てを部品として使用するため、不要な部材が発生しません。

初回ラインナップは、「ガイアフレーム」、「マーズフレーム」、「マーキュリーフレーム」の全3種で、今後シリーズ化を予定しています。



©BANDAI

suna・suna sunablock ベーシックセット

9月19日発売予定/3,758円(税込)

(株)バンダイ

室内で気軽に砂遊びを楽しめる新シリーズ「suna・suna(スナ・スナ)」です。「suna・suna」の砂は、ナムコと老舗ガラスメーカーのHARIO(株)が共同開発し、バンダイが商品化しました。砂は、水を使わなくてもぎゅっと固まる性質で、砂を「積む・持つ・削る」という遊びをしやすのが特徴です。砂の加工はすべて国内で行い、一般的な食品加工にも使われている素材を使用。万が一、口に入れても安全です。本商品は、「suna・suna」の砂に加え、遊びシートや、型、ヘラなどを付属しています。今後、本シリーズでは、ディズニープリンセスの「シンデレラ」や「トイ・ストーリー」、「妖怪ウォッチ」、「きかんしゃトーマス」などのキャラクター商品、そして砂の単品商品も発売していきます。



©BANDAI 2015

PS Vita/PS4 「GOD EATER RESURRECTION」

10月29日発売予定/PS Vita版:5,210円 PS4版:6,170円

PS4/PS Vita/TVアニメ クロスプレイバック&アニメ Vol.1:9,980円

(価格はすべて税抜) (株)バンダイナムコエンターテインメント

5周年を迎えた「GOD EATER」シリーズの最新作『GOD EATER RESURRECTION』を10月29日に発売します。2010年に発売したPSP用ソフト『GOD EATER BURST』に新アクションシステムやアフターストーリーを追加し、大幅にパワーアップ。7月より放映中のTVアニメ「GOD EATER」で初めて本シリーズを知っていただいたお客さまにも、原作となる本ゲームによってTVアニメと同じ時間軸を共有し、より深く「GOD EATER」の世界に浸ることができます。なお、本シリーズはバンダイナムコエンターテインメントのオリジナルIPで、累計出荷本数300万本を突破しており、5周年となる今年は5月の「パチスロゴッドイーター」、7月のTVアニメ化などでメディアミックスを展開し、多くの方々へタッチポイントを増やしています。



©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

攻殻機動隊 新劇場版

10月28日発売/Blu-ray【特装限定版】:9,800円(税抜)

DVD:7,800円(税抜)

バンダイビジュアル(株)

6月より全国107館で劇場公開された「攻殻機動隊 新劇場版」のBlu-ray&DVDが発売となります。世界に衝撃を与え、SF映画の映像表現に革命を起こした「攻殻機動隊」原作の誕生から25周年。その記念作品となる本作は、総監督:黄瀬和哉、音楽:コーネリアスという豪華スタッフが贈る「攻殻機動隊」結成の物語です。

Blu-rayには、豪華スペシャルブックレットのほか、ノーカット完全版シナリオブックが付属。さらに、劇場公開記念特別番組や、イベントトークショー、舞台挨拶などが収録された約180分にも及ぶ豪華特典ディスクが付属するなど、見逃せない特典が目白押しです。



©士郎正宗・Production I.G/講談社・「攻殻機動隊 新劇場版」製作委員会